

○あいちオレンジタウン構想 取組の全体スケジュール

項目		アクションプラン			
		H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2
地域づくり	I 既存の社会資源の機能強化	<div>① 医療資源・介護資源の機能強化</div> <div>ア 認知症サポート医、かかりつけ医、認知症疾患医療センター、地域包括支援センター等の連携体制構築【県・医師会・NCGG】 調整 → 検討委員会立ち上げ実態調査（全県） → 連携対策構築 → 継続実施</div> <div>イ 認知症介護指導者の活用による事業所の認知症対応力向上【大府センター・大府市・東浦町・県】 調査・実態把握 → 研修会・啓発活動の実施 → 個別相談等の実施</div> <div>ウ NCGG の病床機能の強化【NCGG】 認知症リハビリテーション機能の強化など病床機能等の見直しを含めた建替えを検討</div> <div>② 医療・介護専門職の家族介護者支援力向上【認知症の人と家族の会・県】 調整 → 家族介護者支援普及のための研修会開催 → 継続実施</div> <div>③ 若年性認知症の人への早期相談支援体制づくり【大府センター・NCGG・県】 診断（NCGG）から支援（大府センター）へのつなぎの連携開始 → 他の疾患医療センターへ波及 → 事例の積上げ・就労支援モデル等開発</div>			
	II 新たな社会資源（企業・大学）の巻き込み	<div>① 認知症の人にやさしい企業サポーターの養成【県・NCGG・企業等】 参画企業開拓 → 認知症本人及び企業への実態調査 認知症対応プログラム開発 → 対応プログラムの実証（大府市・東浦町・その他実証エリア） → 検証・全県へ波及</div> <div>② 認知症パートナー宣言の創設【県・企業・大学】 参画企業開拓 → 県・宣言企業・大学による 立ち上げイベントの実施 → 継続実施</div>			
	III 社会資源の有機的連携	<div>認知症カフェを中核とした有機的連携の実証</div> <div>実態把握【県・家族の会】 → カフェサミット開催 実証エリア設定・立ち上げ支援 → 市民・専門職コラボ型カフェ実証【県・市町村】 → 検証・全県へ波及</div>			
研究開発等	IV NCGGを中核とした産学官連携による共同研究等の推進	<div>① 認知症予防の共同研究の実施</div> <div>ア NCGG とプラザの連携ラボによる認知症予防プログラムの開発等【NCGG・プラザ・県】 開設準備 → 連携ラボ開設・予防プログラム開発 予防分野での企業等との共同研究の検討 → 認知症予防リーダー育成 → 検証・全県へ波及</div> <div>イ シンガポール国立大学との研究交流の推進【県・NCGG・名古屋大学】</div> <div>② NCGGの病院機能の拡大【NCGG・県・企業等】 ・研究テーマ（食品・住宅・IoT など）の検討・共同研究の推進 ・企業等との共同研究のための実証機能の実装を推進 ・国際的な医療協力を資するとともに、医療ツーリズムの可能性を検討</div>			

平成30年度の事業内容等	
あいちオレンジタウン構想推進費	
I 既存の社会資源の機能強化	
①ア【認知症地域医療研修事業】 ・医療従事者向け研修等の実施 ・認知症サポート医の活動実態やニーズを調査 ・地域における連携体制の構築	
①ア【認知症疾患医療センター運営事業(国 1/2 補助)】 ・認知症に関する専門医療相談、地域包括支援センターとの連絡調整 ・認知症疾患医療連携協議会の開催 等	
①イ【認知症介護指導者研修費】 ・認知症介護指導者の養成研修及びフォローアップ研修の実施	
①ウ【あいちオレンジタウン構想推進調査費】（債務負担行為分） ・NCGGの病床機能等の見直し検討のための調査を委託	新規
②【認知症専門職家族支援研修事業】 ・介護支援専門員等の専門職に対する研修会の実施	
③【若年性認知症総合支援センター運営事業（国 1/2 補助）】 ・若年性認知症支援コーディネーターを配置 ・理解促進のための研修や意見交換会の開催等	
II 新たな社会資源（企業・大学）の巻き込み	
①【認知症の人にやさしい企業サポーター養成事業】 ・小売業、金融機関、公共交通機関で働く人向けの認知症対応プログラムの開発	新規
②【認知症パートナー宣言推進事業】 ・県内の大学、企業がパートナーとなることを県とともに宣言 ・宣言企業・大学が一堂に会するイベントを開催	新規
III 社会資源の有機的連携	
【地域住民の認知症理解促進事業】 ・「認知症カフェサミット」の開催 ・「運営者マニュアル」及び「利用者案内」の作成 【認知症に理解の深いまちづくりモデル事業】 ・先進的な取組となるモデル事業を市町村へ委託（10市町村）	新規
IV NCGGを中核とした産学官連携による共同研究等の推進	
①ア【認知症対策研究・支援事業】 ・認知症共同研究推進事業（連携ラボ・長寿研分） ・認知症予防プログラムの普及（コグニサイズ） ・初期集中支援チーム、地域支援推進員の活動強化 ・徘徊見守りネットワーク整備等の実施 【認知症共同研究推進事業】（連携ラボ・プラザ分） ・新たな認知症予防プログラムの開発等に関する共同研究の実施 ・認知症予防リーダーの育成に向けた研究	新規
（その他）【あいちオレンジタウン構想推進会議】 ・アクションプランの取組の推進、進捗管理	新規

（注）NCGG：国立長寿医療研究センター

大府センター：認知症介護研究・研修大府センター

プラザ：あいち健康プラザ